

薄黄色のセルにのみ入力してください
入力したセルの色は無色に変わります

2016年度 後期

リフレクションペーパー

学科名

経営ビジネス学科

科目名

ブラッシュアップ英語Ⅱ

科目区分

リテラシー科目

単位数

1単位

開講時期

2年次後期

必修・選択
の別

選択必修科目

担当者

高野裕子(非常勤)

授業の
到達目標
(シラバスから)

4技能のブラッシュアップをかほす。
 ・リーディング力を養い、日常目にする英文の理解ができるようになることを目的とする。
 ・上記に付随した英語が聞き取れるようになることを目的とする。
 ・上記に付随した簡単な英文が書けるようになることを目的とする。
 ・テーマについて、簡単に英語でコミュニケーションができることを目的とする。
 文化的な差異の理解をかほす。

日程と内容

(1) 9/17(土) 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法
 (2) 9/26 Unit 8: You Could Have Pool Parties!
 (3) 10/3 Unit 8: You Could Have Pool Parties! (R)
 (4) 10/15(土) Unit 9: We Are Going on a Cruise!
 (5) 10/17 Unit 9: We Are Going on a Cruise! (R)
 (6) 10/24 Unit 10: Have You Ever Volunteered Before?
 (7) 10/31 Unit 11: Think Before You Post!
 (8) 11/7 Unit 12: You Lied to Her!
 (9) 11/14 Unit 12: You Lied to Her! (R)
 (10) 11/21 Unit 13: Are You Sleeping Well?
 (11) 11/28 Unit 13: Are You Sleeping Well? (R)
 (12) 12/5 Unit 14: Why Do You Want to Work Here?
 (13) 12/12 Unit 15: You Should Make Wise Food Choices (R)
 (14) 12/19 Unit 15: You Should Make Wise Food Choices
 (15) 1/16 Review Unit 8- Unit 15
 (16) 1/23 定期試験

成績評価基準

定期試験	50%	実技	
臨時試験	30%	部外評価	
報告書・レポート		プレゼンテーション	
課題 演習	20%	計	100%

授業到達目標
の達成度

簡単な短い英文は読み取れても、1センテンスが関係詞で修飾されて、どれがどの主語の動詞かがわからなくなると、もうお手上げ状態になるケースが多い。リーディング力をつけるには、容易な英文をとにかく多読するというトレーニングを次回行ってみたいと思う。

反省点

前期と同じトピックを与えての英文レポートを5回課したのだが、添削して返却したあと学生がそれをどうしたか... 清書して改めて提出ないしはオーラルプレゼンテーションさせるなどをするべきだったと思う。学生が「書きました、間違っていました、終わり」では課題の意味がない。フィードバックが十分でなかったと反省。

来年度の計画

上記反省点の実施。

授業評価アンケートに対するコメント	特に明記することはありません。						
履修登録者数	46 名	定期試験 受験者数	43 名	合格者数	34 名	合格率	79%
	↑ 数字を入力してください “名”は付けないでください		↑ 数字を入力してください “名”は付けないでください		↑ 数字を入力してください “名”は付けないでください		

	コピー&貼り付け用データ ↓				
←	生物環境化学科	電気通信工学科	建築・デザイン学科	情報学科	経営ビジネス学科
←					
←	人間形成科目	リテラシー科目	専門科目	教職科目	
	入力時のヒント				
←	セル内で改行する時は、大量の空白によって文字をずらすのではなく、次のようにしてください。				
←	Windows の場合 → Alt キーを押し下げながら、Enter キーを押す				
←	MacIntosh の場合 → Command キーと Option キーを押し下げながら、Return キーを押す				
←	シラバス通りの内容の場合は、シラバスのWordファイルからコピーするのが最も簡単です。				
←	この場合、セルを選択して貼り付けるのではなく、セルを選択した後にウィンドウ上部の入力ボックスに貼り付けてください。				
←					
←					
←					
←					

←					